

2014年2月27日 発

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話: 022-264-6423 / E-Mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

報道関係者各位

「Post quake Innovation Forum」

東北学院大学災害ボランティアステーションスタッフもプレゼンテーション発表

開催のご案内



PIF



GLOPATHは、東日本大震災から3年目となる2014年3月7日(金)・8日(土)に、東京、日比谷図書文化館において、「Post quake Innovation Forum」を開催します。

今回のフォーラムにおいて、東北学院大学災害ボランティアステーションの学生スタッフおよび教職員スタッフによるプレゼンテーションが行われます。

通常のパネルディスカッションのように数人のパネリストが登壇して順番にプレゼンテーションを行う、という形ではなく、ステージ上にいるGLOPATHの生徒(高校生)2人が各団体の取り組みを自分の視点で紹介し、それに対して客席にいる当事者(コラボレーター)の方たちが意見を述べる、という方式です。

報道関係者各位には、ぜひPIFにご参加いただき、PIFの成果発信にご協力賜りたく、お願い申し上げます。

【 Post quake Innovation Forum 概要 】

日時: 2014年3月7日(金) 13:30～17:30

場所: 日比谷図書文化館

お問合せ先: 東北学院大学学長室事務課

担当: 其田 sonodam@staff.tohoku-gakuin.ac.jp 022-264-6424

【本件に関するお問い合わせ】

東北学院大学学長室事務課 担当: 其田

sonodam@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

022-264-6424



株式会社グローパス 2014年3月7日-8日
Post quake Innovation Forum(PIF)を開催

<http://pif.jp/>

東日本大震災から3年が経とうとしています。想定外の巨大地震によって、多くのコミュニティや産業分野が、これまでの震災対応基準を根本的に見直さなければならぬ厳しい現実と直面しています。一方、個々人のレベルでも意識の変化が表れています。それまで「客」の立場で公に頼っていた個人が、自らが「主」となって、変化を起こそうとしているのです。

PIFでは、「一つひとつの“おうち”から 高めよう 日本の減災力」をスローガンにして、共同体が、政治が、研究者が、産業界が、そして個人が取り組んできたイノベーション事例を検証し、大震災に備える社会の、あるべき姿を見つめ直します。フォーラムに参加する、東北はじめ日本各地の産・学、営利・非営利の約40団体／約200名は、全員が何らかの形でポスト3.11の「減災」「復興」に取り組んできたイノベーション事例の実践者です。

PIFは、参加者全員で、共同体の再生、防災への備え、家族のあり方、住まいのあり方などについて議論するインタラクティブなフォーラムです。

議論の成果は、政策提言書として、当日PIFにご参加予定の古屋圭司内閣府特命担当大臣(防災)にお渡しする予定です。

* 株式会社グローパス (GLOPATH)

<http://glopath.com/>

GLOPATHは、2011年に3人の中学生が設立した「子どもたちによる子どもたちのための未来を共創する企業」です。PIFは、GLOPATHの子どもたちの立が中心となって、企画立案、実行、未来の日本の減災力を高めるための世論づくりを促進します。

【CEOメッセージ】

世界は、新しいリーダーと新しいアイデアを求めています。

私たち子どもこそが、知恵と感性と意志で、

世界を前に進めるリーダーとならなければなりません。

なぜならば、私たちは次の世代であり、未来そのものだからです。

私たち子どもの力によって、世界をリードし、成功する機会を創造しませんか。

そのためにも、私たちは私たち自身の殻を破る必要があります。

GLOPATHは、そのためのチャンスをつくります。